

# THE WEEKLY NEWS OF EAST KISARAZU



国際ロータリー第 2790 地区  
木更津東ロータリークラブ

2020-21 年度

●例会日 毎週水曜日 PM12:30~1:30 ●例会場 オークラアカデミアパークホテル TEL 0438-52-0111  
●事務局 木更津市東中央 3-5-2 第 2 三幸ビル 101 TEL 0438-25-0716 FAX 0438-25-0718

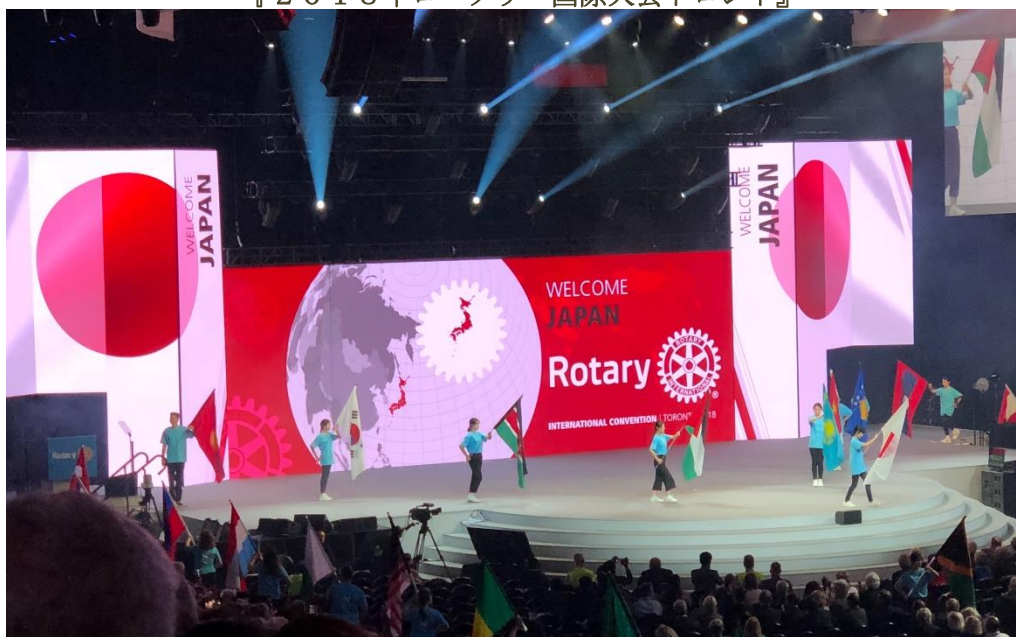
2020-21 年度国際ロータリーテーマ

## ロータリーは機会の扉を開く ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

第 16 回 例会 NO.2507

2020 年 12 月 2 日

『2018年ロータリー国際大会トロント』



撮影：渡邊慎司会員

### ■司会進行

渡辺元貴 S A A



- ◆出席 会員 43 名  
出席 30 名  
欠席 13 名
- ◆出席率 75.00%
- ◆前々回出席率 78.37%
- ◆修正後出席率 86.48%

### ◆欠席者【敬称略】

石井文子・叶川博章・嶋津正和・鈴木秀幸・  
竹内正守・塚本秀夫・鶴岡大治・中野麻美・  
林田謙志・宮寺順子

◆点鐘 松岡邦佳会長  
12時30

◆Rソング斉唱  
「奉仕の理想」

ホームページ <https://isarazueast-rc.jp>



木更津東ロータリークラブ

会 長 松 岡 邦 佳  
幹 事 近 藤 直 弘  
編 集 藤 野 宏 治

国際ロータリー第 2790 地区

R I 会 長 ホルガー・クナーケ  
地区ガバナー 漆 原 摂 子  
ガバナー補佐 窪 田 謙

◆メイクアップ【敬称略】

・12/2 第6回定例理事会

松岡邦佳・加藤智生・渡邊慎司・大里光夫・  
近藤直弘・佐藤文夫・渡辺元貴・山田修平・  
石田亨・吉田和義・堀内正人

◆誕生日祝い

- ・鈴木克己 (11/6)
- ・渡辺元貴 (11/29)

◆結婚祝い

- ・宮寺順子 (11/24)
- ・塚本秀夫 (11/24)



◆四つのテスト

会員増強・研修委員会  
倉島和弘会員



■年次総会

議長 松岡邦佳会長



◇定足数の確認

近藤直弘幹事



◇審議事項

【第1号議案】指名委員会 内田重委員  
・次年度役員及理事候補者承認の件



【第2次議案】

佐藤文夫会計  
・2020-21年度中間決済承認の件



■会長挨拶・報告

松岡邦佳会長



皆様こんにちは。

12月になりました。先日行われました太田山公園の桜の植樹、並びに姉妹クラブ締結記念の支柱の建てかえの例会に多くの皆様に参加いただきありがとうございます。また、当日のために石田委員長、叶川委員長をはじめとする委員会の皆様に準備いただき誠にありがとうございます。当日は落ち葉やごみがたくさんあり、夏の例会とは異なり作業のやりがいがありました。一生懸命掃除した結果、大変きれいになったと思います。

桜の植樹は2回目ですが、これからも続けていきたいと感じました。

本日は木更津東ロータリークラブの定時総会が開催されます。本日の定時総会にて来年度の木更津東ロータリークラブの理事が選任され、いよいよ来年度に向けた動きが本格化するかと思えます。本年度の行事と来年度の準備が重なる大変忙しい時期が始まりますがご協力をお願いします。

■幹事報告

近藤直弘幹事



1. 幹事報告

- ・本日例会終了後、第6回定例理事会を開催いたしますので該当社員の出席をお願い致します。

2. 他クラブからのお知らせ

- ・木更津RCより『例会変更のお知らせ』が届いておりますので回覧致します。

3. その他のお知らせ

- ・特になし

4. 回覧

- ・木更津RCより『例会変更のお知らせ』

■委員会報告 社会福祉プロジェクト委員会  
石田 亨委員長



◆ニコニコボックス

出席・ニコニコ・報告委員会

佐藤文夫会員



◇鈴木克己会員

誕生日の祝いありがとうございます。男性の健康平均寿命は72歳とか……。その72歳になってしまいました。

◇渡邊元貴会員

孫たちと共に一家揃って朗らかな食事会ができました。又、墓前に今の幸せを感謝して最高の誕生日となりました。

◇堀内正人会員

職業奉仕委員会委員長の堀内です。本日は雨城楊枝二代目、森様より卓話を頂きます。よろしくお願い致します。



◆卓話

千葉県指定伝統的工芸品

雨城楊枝二代目・森光慶様



『心の琴線に触れる楊枝』

皆様は雨城楊枝というものをご存じでしょうか。雨城は雨の城と書き、築城の際三日に一度雨が降ったといわれる久留里城の別名です。楊枝の材料は黒文字という木肉が白く美しい木です。

昔から久留里周辺の黒文字は質が良いとされておりました。江戸に入り戦のない時代、徳川家康の命により久留里城主となった土谷忠直が武士達に楊枝を作らせ生計の一部になるようにしました。

私の実家は久留里にあり曾祖父から私まで四代にわたり雨城楊枝を作り続けております。百年前、当家では年間二万円の収入があったといわれています。現在の貨幣価値に直すと八千万円にもなりました。当時、楊枝作りは久留里地域で一大産業となっておりました。当時制作していたものは楊枝と房楊枝でした。楊枝は歯の間を掃除する物であり、房楊枝は現在の歯ブラシの役目をします。しかしながら、楊枝については明治二十九年頃年間440万本生産していたものが、昭和に入ると年間二万五千本まで減少してしまいました。これは楊枝が白樺楊枝に代わり、房楊枝がプラスチック製の歯ブラシに取って代わられてしまったからです。

このような中、森家は細工楊枝に活路を見出しました。着物の帯留めにヒントを得て『松、竹、梅、末広、む寿び』等、他に真似の出来ない高度な技術と熟練を要する製品に挑戦しました。現在では千葉県の伝統的工芸品に指定されております。

近くで見ただけだと、黒文字の白い木目の綺麗さを実感いただけるとと思います。現在では飾りとして和室の床の間に額に入れておかれることが多いのですが、日常の茶席や食事の際に黒文字楊枝を使っただけだと何とも言えない香りのよさを感じただけだと思います。皆様機会がありましたら是非使ってみてください。

『展示品』



◆点鐘

松岡邦佳会長

13:30